

宙[そら]と話す日

東日本大震災・イタリア北部地震復興支援チャリティコンサート
clumusicaフレンドシップ公演5

2012年 7月16日(月・祝) 14時30分開演[14時開場] 入場無料

カトリック草津教会

525-0034草津市草津1-9-21

主催:クラムジカ 京都市立芸術大学音楽学部中村研究室[075-334-2363,nakamura@kcua.ac.jp]
後援:日本現代音楽協会 日本作曲家協議会

みなさまのご寄付すべてを東日本大震災・イタリア北部地震の被災地の皆様へ
国際NGOカリタスの一員カリタスジャパンを通じてお届けします。

フォーレ:レクイエム[中村-岡本版・抜粋](初演)

斎藤武:夢見たものは [詩:立原道造] 再歩の歌 [詩:斎藤武]

嘉勢太務:ブルース 清水慶彦:独誦 第2

増田真結:契 [詩:石垣りん](初演) 河副功:影 (初演)

金スヒョン:旋 (初演) 中村典子:沙韻 [詩:涼州詞(王維)](初演)

ソプラノ:奥田聖子 ソプラノ:村辺恵奈 アルト:片山千聖
テノール:中田貴士[ゲスト:広島]テノール:虫本友
バリトン:菊田義典 バリトン:落合庸平
オルガン・ピアノ:岸本佳美

三味線:山内利一[ゲスト:東京] フルート:田呈媛
ヴァイオリン:竹村美香 金有里 村上真理菜
ヴィオラ:佐本博子 チェロ:山内瑤子 コントラバス:赤松美幸

Day of talking with Sky

For Disaster victim of East Japan earthquake and Northern Italy earthquake
clumusica friendship concert for charity 5

2012.7.16(Mon.holiday) 14:30-[open:14:00]

Catholic Kusatsu Church

[1-9-2,Kusatsu,Kusatsu525-0034,TEL:075-562-3510]

Free Entrance

Organiser : clumusica Nakamura lab. of composition, Faculty of Music, Kyoto City University of Arts[075-334-2363, nakamura@kcua.ac.jp]

Supported by The Japan Federation of Composers Inc. Japan Society for Contemporary Music

*All contributions will be donated to those who suffered so greatly from the disaster victim of East Japan earthquake and the northern Italy earthquake,
with assistance from Caritas Japan of the member of International NGO Caritas.

Gabriel FAURE : Requiem

[arrangement:N.Nakamura-S.Okamoto](version premiere)

SAITO Takeshi : It was ...that I dreamed[poet : TACHIHARA Michizo]

Song of walking again[poet : SAITO Takeshi]

KASE Taimu : Bruce for Shamisen solo(2010)

SHIMIZU Yoshihiko : "monologue 2" for Flute solo(2010)

KAWAZOE Isao : Shadow(premiere)

KIM Soohyn : "Seon" for string quartet(premiere)

MASUDA Mayu : Promise [poet : ISHIGAKI Rin](premiere)

NAKAMURA Noriko : Verse of the ground without water

[poem : Liangzhou poem poet : Wang Han]

Soprano : OKUDA Seiko MURABE Ena Alto : KATAYAMA Chise

Tenor : NAKATA Takashi[from HIROSHIMA] MUSHIMOTO Yu

Baritone : KIKUTA Yoshinori OCHIAI Yohei

Organ & Piano : KISHIMOTO Yoshimi

Shamisen : YAMAUCHI Riichi[from Tokyo] Flute : Tian Cheng Yuan

Violin : TAKEMURA Mika KIM Yoori MURAKAMI Marina

Viola : SAMOTO Hiroko Cello : YAMAUCHI Yoko Contrabass : AKAMATSU Miyuki

山内利一（津軽三味線）京都市立芸術大学音楽学部卒業。打楽器を大口久二子、小谷康夫、山本毅、種谷睦子の各氏に師事。長唄囃子を藤舎呂悦氏に師事。津軽三味線を松村幸治氏に、現代邦楽三味線を山崎千鶴子の各氏に師事。国内外で和太鼓奏者、津軽三味線奏者として活動をjしている。

田呈媛（フルート）瀋陽出身瀋陽音楽学院卒業。2006年9月京都市立芸術大学大学院研究留学生として来日。2011年3月同大学院音楽研究科修士課程修了。大学院賞受賞。大嶋義実氏に師事。現在、同博士課程に在学中。2008年京都府名誉友好大使に任命され、日中のかけ橋になるように国際交流に活躍。

竹村美香（ヴァイオリン）京都市立芸術大学音楽学部卒。英国王立音楽院(Royal Academy Of Music)修了。ヴァイオリンを故東儀祐二、木村和代、和波孝禧、Erich Gruenberg、の各氏に師事。朝日推薦演奏会出演。1990年、京都フィルハーモニー室内合奏団に入団。在団中、ソリストとしても数々のステージを踏む。2001年、同合奏団を退団後は、関西を中心にソロ、室内楽、オーケストラなど各方面で活躍中。また、子供のためのコンサートや講習会などの企画、後進の指導にも力を注いでいる。

金有里（ヴァイオリン）奈良県出身。4歳からヴァイオリンを始める。2011年3月京都市立芸術大学卒業。2008年8月、草津国際音楽アカデミーでS.ガヴリロフのマスタークラスを受講。そして、2008年・2009年3月にPhoenixOSAQAに参加。2010年2月プロジェクトQ・第7章に参加、紀尾井ホールにて修了コンサートを行う。同年7月京都ブライtonホテルのリレー音楽祭に出演。また同7月にアルカスSASEBOのヴァイオリンセミナーに参加、9月に修了コンサートに出演。8月宗次ホールに於ける第2回名古屋アンサンブルフェスタにてベストアンサンブル賞受賞。学内にて選抜され134・137回定期演奏会（室内楽）に出演。これまで渡辺美穂・岩谷悠子・久合田緑・豊嶋泰嗣の各氏に師事。

村上真理菜（ヴァイオリン）京都市立芸術大学音楽学部音楽学科弦楽専攻を卒業後、桐朋学園大学院大学音楽研究科演奏研究専攻を修了。2011年桐朋学園大学院大学内演奏会「協奏曲のタベ」でソリストとして、円光寺雅彦氏指揮／桐朋オーケストラ・アカデミーとJ.シベリウス《ヴァイオリン協奏曲 二短調作品47》を共演。2002年第21回富山県青少年音楽コンクール青少年音楽大賞受賞。2012年富山県新人演奏会がにおいて富山県知事賞、北日本新聞音楽奨励賞受賞。ヴァイオリンを故岩崎隆子、小沢真琴、梅澤理佳、四方恭子、藤原浜雄の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」京都教室講師。

佐本博子（ヴィオラ）京都市立芸術大学卒業。5歳よりヴァイオリンを始め、大学4回生でヴィオラに転向する。第22回くるめ新人演奏会に出演。第31回草津夏期国際アカデミー、第22回京都フランスアカデミーのマスタークラスを受講。ヴァイオリンを西井美甫子、太期晴子、久合田緑の各氏に、ヴィオラを山本由美子氏に師事。現在、京都市立芸大大学院修士課程2回生。

山内瑶子（チェロ）13歳よりチェロを始める。県立西宮高校音楽科を経て、現在京都市立芸術大学音楽学部卒業。第3回名古屋アンサンブルフェスタにおいて特別講師賞受賞これまでにチェロを林裕、池村佳子、上村昇の各氏に師事。

赤松美幸（コントラバス）兵庫県立西宮高校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部卒業。2006年佐渡裕スーパーキッズ・オーケストラに参加。2006年佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラに参加。2008年ゲーリー・カーのキャンプに参加。第14回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール第3位受賞。第10回日本演奏家コンクール弦楽の部奨励賞受賞。これまでコントラバスを長谷川悟、南出信一、吉田秀の各氏に、声楽を北村敏則氏に師事。

奥田聖子（ソプラノ）京都市立音楽高校（現市立京都堀川音楽高校）、京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了。山本のりこ、正木真理、小室彰子の各氏に師事。京都市立芸術大学音楽学部音楽教育研究会「京都子どもの音楽教室」特別研究員。城陽混声合唱団、女声コーラス コール・リーベン各ヴォイストレーナー。Unmarked Singers、The Cygnus Vocal Octet各メンバー。日本ドイツリート協会会員。

村辺恵奈（ソプラノ）栗東市出身。石山高等学校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部卒業。片岡京子、田附和子、小室彰子の各氏に師事。現在、後進の指導にもあたる。

片山千聖（アルト）京都市立音楽高等学校（現・京都市立堀川音楽高校）、京都市立芸術大学卒業。学部オペラ公演にて「フィガロの結婚」ケルビーノ役。小木谷好美、三井ツヤ子の各氏に師事。

中田貴士（テノール）岐阜県出身。玉川大学文学部芸術学科卒業。玉川大学芸術学部専任副手を経て、エリザベト音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。これまでに、マニフィカト、メサイア、ミサ・ブレヴィス、第九などのテノールソロを務める。2009年、2011年にはリサイタルを開催し、好評を博す。ウェブサイト

<https://sites.google.com/site/takashinakata0216/>

虫本友（テノール）京都市立芸術大学、同大学院声楽科卒業。大学卒業後は、おんわ音楽企画を立ち上げて音楽の普及発展に勤めている。

菊田義典（バリトン）京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。伏見強、山田建司、故手島孝教、川村英司の各氏に師事。現在、奈良県音楽芸術協会、橿原音楽協会会員。

落合庸平（バリトン）神戸大学発達科学部卒業。京都市立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。G.B.Viotti音楽院に留学Corso triennale（三年制コース）を修了。アラーニャ市立歌劇場にて「ラ・ボエーム」シヨナール役でデビュー。サツルツジャ市のオペラフェスティバル「椿姫」にドウフォール男爵役で出演。ジレットィ歌劇場の公演「ラ・ボエーム」に再びシヨナール役として召喚され、地元紙に掲載されるなど好評を博す。京都の秋音楽祭にて「カルメン」にダンカイロ役で出演。関西歌劇団91回定期公演三部作「外套」にタルパ役で出演。同歌劇団による吹田市メシアター25周年記念公演「フィガロの結婚」（大阪文化祭奨励賞受賞）にタイトルロールとして出演。

岸本佳美（ピアノ）滋賀県立石山高専音楽科を経て、大阪音楽大学短期大学部ピアノ専攻卒業。ピアノを山下啓子、故 遠山つや、故安田信子、伴奏法を塚田佳男の各氏に師事。合唱の伴奏をはじめ、声楽・器楽の伴奏者として幅広く活動している。現在、女声合唱栗東カレンチュラ、栗東少年少女合唱団、フラワーコーラス、滋賀銀行経済文化センター主催第九合唱団等のピアニスト。

河副功（作曲）草津市出身。京都市立芸術大学音楽学部卒業。主に木管楽器、ファゴット作品のほか、ミュージックコンクレート作品など幅広い分野を手がける。

金スヒョン（作曲）1982年間国釜山生まれ。漢陽大学音楽大学作曲専攻卒業。京都市立芸術大学大学院1回生。韓国全国合唱曲作曲コンクールで受賞。

嘉勢太務（作曲）京都市立芸術大学音楽学部卒業。音楽学部賞、京都音楽協会賞受賞。同大学院修士課程就学期間在学中退。

増田真結（作曲）京都市立芸術大学卒業（音楽学部賞、京都音楽協会賞）、及び同大学院音楽研究科修士課程修了（大学院賞）。ドイツ・ブレーメン芸術大学へ交換留学。現在、同大学大学院音楽研究科博士（後期）課程に在学中。第10回東京国際室内楽コンクール第3位、第23回現音作曲新人賞、第15回及び第18回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門一般の部第2位、第78回日本音楽コンクール作曲部門入選。日本・ロシア音楽家協会会員、神戸女学院大学非常勤講師。

清水慶彦（作曲）京都市立芸術大学大学院博士課程修了、黛敏郎作品の研究論文により博士号（音楽）取得。作品集CD『六相円融』（studio N.A.T）が『レコード芸術』誌にて推薦盤に選定されるなど好評をえた。最近ではアンサンブルリユネットCD『エイト・レンゼス』への楽曲提供、著書『黛敏郎の電子音楽』（共著、川崎弘二編著）などを手がけている。京都市立芸術大学非常勤講師、同志社女子大学音楽科嘱託講師などを経て大分大学教育福祉科学部専任講師。

齊藤武（作曲）1958年山梨県生まれ。東京藝術大学大学院作曲専攻修了。日本作曲家協議会会員。宮崎大学助教授を経て、現在、岡山大学教授。主な作品；弦楽四重奏曲第1番【水声】（第5回名古屋文化振興賞）、ピアノ曲【秋日の慈光】（韓国嶺南国際現代音楽祭招待作品）、歌曲集【悩みはイバラのようにふりそそぐ】（JFC出版、U of I 招待作品）室内楽作品【四季の瞳】（第1回東アジア現代音楽祭）、ミュージカル・オーケストラ版【東への風】（宮崎市制作）など。

中村典子（作曲）京都市立芸術大学音楽学部卒業。京都音楽協会賞。同大学院修了。大学院賞。在学中、ブレーメン芸術大学にセメスター派遣留学。2001年京都市芸術新人賞。故廣瀬量平、北爪道夫、前田守一、藤島昌壽、G.アミ、故H.J.カウフマンの各氏に師事。平成22年度滋賀県文化奨励賞。ACL総会・音楽祭入選（2009韓国）（2011台湾）。アジア・ヨーロッパ・アメリカの14カ国各地で作品上演。日本現代音楽協会、日本作曲家協議会、国際伝統音楽学会所属。京都芸術センター運営委員。現在、京都市立芸術大学准教授。